



シリーズ No.2



長島ダム

長島ダムは、建設省が事業主体となつて、榛原郡本川根町の大字梅地と大間地先を流れる大井川に建設する重力式コンクリートダムです。ダムの建設目的は表一のとおりです。またダムの規模は表二

のとおりです。
昭和四十一年度に調査を開始し、昭和五十二年度から工事用道路の建設に着手しました。本体工事も近く着工の運びとなります。
このダムが完成すれば、先人の

表-2 長島ダムの規模	
諸元	規模
1ダム高	112.0m
2貯水面積	2.33km ²
3総貯水量	78,000,000m ³
4有効貯水量	68,000,000m ³
5推砂量	10,000,000m ³
6ダム高	482m
(高さ) 7洪水位	480m
8常時満水位	470m
9洪水期制限水位	453m
10最低水位	432m

(長島ダム完成予想写真)

表-1 長島ダム建設目的	
目的	要旨
1洪水調節	ダム地点を流下する計画高水量毎秒6,600m ³ のうち1,600m ³ の洪水調節のため一時貯留し、下流の水害を未然に防止する。
2河川維持用水	非洪水時にダム地点下流の大井川が、正常に機能し、維持出来るように、既得用水の補給など必要な水量を放流する。
3牧之原地区の 畑地用水	畑地用水の補給に必要な水量を貯水し、季別の計画補給水量を確保して、5,145haの畑地に用水補給をする。
4広域の 水道用水	静岡県大井川広域水道企業団に対し、新たに1日最大518,400m ³ の水道用水を供給する。（志太、榛原、小笠の3地区）

「畑地用水を活用して、どのような営農を展開するか」。このことを地域の問題として、また個々の農家の問題として、今から心の準備をしておきたいものです。

尚、ダム建設費の〇・二一パーセントは、畑地用水を活用する我々農家が、負担します。したがつて、このダムは我々のダムでもあるわけです。



畠地用水施設の効果



三方原地区の場合

県西部の天竜川と浜名湖の間に広がる約七、〇〇〇㌶の三方原台地に施工された国、県の大規模な農業基盤整備は、単に農業に限らず、地域全体の社会、経済の発展に大きく寄与しています。

この基盤整備は三方原用水事業と呼ばれ、そのあらましは次のとおりです。



高収益作物に転換

三方原用水事業は、天竜、東三河総合開発計画に基づき、電源開発が天竜川に建設した秋葉ダムを水源として、農、工、上水を三方原台地に導水する国営農業水利事業と、これに付帯する県営かんがい排水事業、圃場整備事業、及び畠地用水施設をセットで一括整備したもの。

この事業によって、この地区的農村環境は、著しく整備され、農地の高度利用が促進されています。米麦中心の農業から茶、花卉、洋菜類等の高収益の作物が導入され、経営体質の転換が計られています。

この事業によって、この地区的農村環境は、著しく整備され、農地の高度利用が促進されています。米麦中心の農業から茶、花卉、洋菜類等の高収益の作物が導入され、経営体質の転換が計られています。

施設維持管理体制は各区間毎に分担管理

三方原用水は、ほとんど自然地下水で導水され、二〇～四〇㌶毎に四百～八百立方㍍の貯水池に貯水して、貯水池毎に設置した加圧ポンプによる水の使い方は、まだ未知数の部分が多いが、細かな研究でかなりの活用が出来ると思います。これまでに民間企業と共に研究して、スプリンクラーの先端部分などかなり改良しました。

茶に対する水の使い方は、まだ未だ茶などの永年樹の場合は、また茶などの永年樹の場合は、蔬菜類と違つて、旱ばつ時に水をかけたからといって直ちに目に見えた効果はないが、その時の水の手当が翌春の樹勢に影響します。今では二週間雨が降らないとかん水しています。

スプリンクラー散布で農薬害が無くなる

みかんで生きてきました。用水施設が出来る前は、九〇町歩のみ

茶への水の使い方でかなり活用ができる

浜松市根洗町 樽井孝蔵さん（茶）

茶の防霜、防除、施肥及び旱ばつ対策に畠地用水を最大限利用しています。

茶に対する水の使い方は、まだ未だ茶などの永年樹の場合は、また茶などの永年樹の場合は、蔬菜類と違つて、旱ばつ時に水をかけたからといって直ちに目に見えた効果はないが、その時の水の手当が翌春の樹勢に影響します。今では二週間雨が降らないとかん水しています。



農業基盤整備により町全体が生き返った

浜松市古見町古橋金吾さん（畠作・セロリ）

この地区に畠地用水施設が出来る前の状態は、七割方が悪水田で残りの畠で茶やスイカを作っていました。

まさに貧農地帯だった。しかし区画整理から畠地用水施設までの一連の農業基盤整備と、農業改良普及所や農協の指導によって、今は専らセロリ主体の施設園芸になりました。茶の消毒についても、今まで時間の方が長く苦痛だったが、大幅に省力化された。こうなると茶園としても野菜類にしても、消毒の作業が楽しくなつてくる。

このため野菜類の場合、年二作三作も可能で年中稼動できるようになり、当然収入も増えた。また、畠の傍で野菜類を洗うこともでき、出荷時の時間のロスが管理運用しています。

今回、この三方原地区で畠地用水施設を実際に利用している篠農家諸氏の貴重な体験談を紹介します。

いつでも必要なとき欲しいだけ水を使う

浜松市大山町 加藤喜徳さん（畠作・茶）

畠地用水施設が出来る前は、地下水を汲み上げてサツマ芋、麦などを栽培していたが、用水施設が出来てからは野菜、葉菜、花卉類の栽培に変わった。

用水を利用して実際に感じる利点としては、いつでも、必要なときに、欲しいだけ水が使えるため、天気（雨）の心配をしなくて良く、いつでも種まきや施肥、結果をあげています。



このように、三方原用水事業の施行によって、當農形態を変え、地域によっては施設園芸面積を、加速的離農現象にブレークをかけ、農家の動態を安定させています。

牧之原畠地用水事業

工事の進め方にについて

**ダム貯水までには
末端で取水可能に**

みんなの利用する用水は大井川の水です。ここではみんなの畠地に、水が届くまでの工事の進め方を説明します。

長島ダムは、建設省が施工し、川口取水口から、末端受益一〇〇

分までは農林水産省、それ以降は散水施設まで、静岡県で施工します。

長島ダム完成までには、国県営の幹支線パイプラインは完了の予定です。

したがって、長島ダム貯水時は、末端約三〇分毎に取水が可能となる予定です。

団地内農家と相談を 末端工事着手の際は

国、県営パイプラインは、原則として道路に布設されます。

このパイプライン工事が完成す

れば、部落界や地形などで区切られる約三十分毎に、どこからでも畠地用水の末端施設工事が着手できます。

この末端施設工事は、団地毎に緊急度や要望の高い順に工事着手することになります。この末端施設工事を着手する場合、事前に団地内の農家のみなさんといろいろ

と相談し、この結果により末端施設を計画し、設計します。相談する内容は概略次のとおりです。

一、団地の外周と面積

二、ポンプ場の位置や規模など

三、メニューの選択

尚、これに必要な受益地調査を現在土地改良区が中心になつて順次、市町別に進めています。



事務所移転について

このたび、長年の懸案でありました牧之原畠地総合整備土地改良区の新事務所が、関係各位の御尽力により完成、去る四月二十日に移転しました。

新住所 島田市中溝町一七二六一四
(電話番号は変りありません)

